

(1)

伊予市長選で4選を決め、万歳する現職の武智邦典氏
—20日午後11時45分ごろ、同市下三谷



伊予市長武智氏4選

2201票差で 新人下す

任期満了に伴う伊予市長選は20日投開票され、無所属現職の武智邦典氏(68)＝同市宮下＝が1万165票を獲得、無所属新人で前市議の田中慎之介氏(44)＝同市森＝を2201票差で破り4選を果たした。

2021年の前回は無投票だったため、選挙戦となつたのは8年ぶり。40代の若手が立候補し、世代の異なる2人の一騎打ちという近年にない構図となつたが、関心は高まらず、投票率は62・53%で17年の67・24%を4・71%下回った。

武智氏は4期目を「総仕

山、双海の3地域の魅力を生かした地域振興策など幅広い政策が広く市民に支持された。

武智氏の出陣式には中村時広知事らが駆け付けて激励。武智氏は培ってきた地盤を固めつつ、組織力で支持を得た。手堅い市政運営や実績も評価され、若さと改革を訴えて追う田中氏を振り切った。

田中氏は市政の変革を訴え、教育予算の増額や救急対応できる病院の誘致などを打ち出して票の取り込みを図ったが、現職の厚い壁に阻まれた。

当日有権者数は2万9426人。投票総数は1万8401票で、有効1万8129票、無効272票だった。

四国中央市長選に初当選し、万歳する大西賢治氏
—20日午後10時半ごろ、同市川之江町



四国中央市長大西賢氏

1万2954票 3氏破る

任期満了に伴う四国中央市長選は20日投開票され、無所属新人の市役所OB大西賢治氏(61)＝同市川之江町＝が1万2954票を獲得し、無所属の新人4人で争った混戦を制した。2004年の市発足から連綿と受け継がれてきた市政の流れの継承か改革かも争点となつた選挙戦は、「非保守」の立場で市政刷新を訴えた大西賢治氏が、次点と4113票差で有権者の信を得た。

前副市長高橋誠(60)＝同市上柏町＝▽元市議会議員長篠永誠司(59)＝同市具定町＝▽会社役員大西英彦(67)＝同市中曾根町＝の3氏は及ばなかった。投票率は49・43%で、21年の前回市長選を上回った。

市長選は市発足後7回目

年ぶりに新人のみの戦いとなり、各候補は「消滅可能性自治体」からの脱却の方策などを争点に舌戦を展開した。4候補中3人が「市政の刷新」を掲げていた。

大西賢治氏は「子どもへの投資」を掲げて子育て支援の充実を前面に打ち出し、2年間の準備期間を生かした。篠永氏は多くの市議の支援を受けたが及ばず、高橋氏は唯一、現市政の継承を強調。大西英彦氏は街宣中心に経営者としての経験のアピールした。

当日有権者数は6万7993人(男3万3265人、女3万4728人)。投票総数は3万3607人で、有効3万3284票、無効323票だった。

月額
¥1,980



愛媛新聞 ONLINE 有料ニュースサービス

デジタルプラン

「きょうの愛媛」はデジタルで

記事をリアルタイム配信

独自コンテンツが充実 ●スポーツ速報 ●受験情報 ●子育て応援

アプリ全面リニューアル

愛媛新聞社デジタル報道部
E-mail: media.info@ehime-np.co.jp TEL: 089 (935) 2253

愛媛新聞社